

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 3月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101977		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームうぐいすの家		
所在地	734-0041 広島市南区黄金山町6番5号 082-510-2555		
自己評価作成日	平成28年12月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470101977-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470101977-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年3月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成12年5月開設の民家改造型グループホームです。階段や段差はありますが、補修と見守りや介助により対応しています。入居者一人ひとりの、得意なことやできる事が継続できるよう関わり、笑顔で過ごして頂けるよう努力しています。季節の行事やお誕生日会を計画し、皆様に楽しんで頂いています。事業所で力を入れていることは、看取りです。本人、家族、医師、看護師の協力のもと取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

民家を改造したグループホームである。住宅街の中で坂道を登ったところに位置しており、玄関前、室内の階段もそのままのとして日常生活の中での訓練と捉えて、積極的な散歩や、外出の機会を確保している。また、本部が車で5分程度の所にあることと、徒歩で行くことができる同一法人のグループホームにおいては、常時、夜勤者に看護師が居ることで、緊急時には双方どちらかから応援を得ることが出来るなどから、看護師から医師へ報告し、早い対応が出来る体制が整っている。一年間は事例が無かったが、希望があれば終末期の看取りの介護が出来る。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開設当初よりの法人の理念があり、その理念を毎日、唱和するとともに、互礼会にて各事業所の目標をたて、日々、取り組んでいる。	法人理念を基に、「うぐいすの家」独自の行動目標を立てている。毎朝の朝礼で唱和することとしているが、都合で、出来ない日もある。目標についての振り返りを、3ヶ月毎にする計画である。	日々の介護の中で、行動目標にある言葉の「尊厳」について、どのようにあるべきなのか、スタッフ全員で話し合ってみられてはいかがでしょうか。言葉、接し方、食事の出し方等でも、利用者の「尊厳」について考えることが、ケアサービスの質の向上に繋がることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会に加入し、回覧板のやりとりや町内の掃除や総会に参加している。今年の大雨警報が発令された折には、町内会長さんが心配され、駆けつけてくださった。	町内会長さんの家は、道路前に位置しており、何かにつけて協力をしていただいている。事業所は町内の掃除や行事に参加するようにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	総会などで、質問を受けた時などお話ししている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所の活動内容を報告している。その時期に応じて、気を付けたいことや、行事などを教えて頂いている。	前回の会議の場では、町内会長さんが防災に関する留意点を話してくださり、知識を深めることが出来た。民生委員さんも毎回出席していただき、地域の情報もお聞きすることが出来ている。定期的な会議の開催をしており、更に、共通の理解を深めるために、2月より議事録を添付している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者の方の受診時には、連絡して、状態を報告している。2ユニット化に向けて、代表者と市担当者との連絡を行っている。	生活保護の方を多く受け入れており、今後も市町と連携することで、出来る限りの対応をしていくこととしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束排除宣言を掲げ、取り組んでいる。食事用のエプロンや「待って」の言葉かけも身体拘束ととらえ、対応を工夫している。日中は玄関の施錠をせず、解放している。</p>	<p>身体拘束排除宣言を掲げるとともに、利用開始時の重要事項説明書にも、盛り込まれており、日々のケアの中での言葉かけや、食事用のエプロンの着用についても留意している。玄関の施錠は夜間のみとしており、出入りの自由が確保されている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>毎年、社内研修で虐待防止について学んでいる。日々の生活の中でも、職員同士お互い注意を払い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修で学ぶ機会を持っている。必要がある場合には、施設代表に相談し、制度利用につなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書をもとに、利用者や家族に説明している。不安や疑問がある場合は、その都度、説明を行い、納得して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>行事や面会時に、意見や要望をお聞きしている。直接、施設代表者に電話をされる場合もある。管理者会議で報告、検討し、対応している。</p>	<p>家族より、室内・シーツの汚れについてご指摘を頂き、直ぐに対処するとともに、今後の業務を見直した。内容によっては、管理者会議に案件として提出し、法人全体で検討するようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやミーティングで、職員より意見を聞いている。管理者会議で検討し、運営に反映させている。	夜勤者が1人なので、早出の時間を少し早くすることで、モーニングケアやサービスの質が向上するとの意見があり、現在、実施に向け調整している。スタッフの意見で直ぐに解決できない内容については、管理者会議で検討の上、回答することとしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	申し送り時や、事業所を訪問することにより、把握に努めている。面接や電話相談を受け、少しでも良い環境で働けるよう、整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修を定期的に行っている。社外研修を希望する場合には、勤務の調整を行い、研修を受ける機会の確保に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の同業者同士の交流会や研修、勉強会に参加し、ネットワークづくりや技術の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	面接時に、本人よりお話を伺い、不安や心配事をお聴きしている。安心感を持っていただけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	面接時に、家族より不安なことや心配事をお聴きしている。その後も、いつでも連絡を受けて、相談に応じている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	面接時にお話を聴き、その方にとって、まず、必要なサービスは何かを見極め、対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	一緒に調理や掃除、洗濯を行いながら、共に生活していることを忘れず、言葉かけや対応を行っている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	家族と相談しながら、利用者にとって一番良い方法で、対応するよう努めている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	希望時には、馴染みの美容院や病院へお連れしている。家族の訪問時には、お部屋でゆっくりお話しして頂けるよう配慮している。	希望に沿って、ドライブも兼ねて出かけるようにしている。ご家族へは施設の行事への参加の呼びかけや、一ヶ月に一度は、生活の様子を便りにして、担当者からお知らせすることとしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合わない利用者同士は、職員が間に入ることで、良い状態で関わりあえるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も、お電話やお手紙でご様子をお知らせいただいている。相談時には、できる限りの支援を行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面接や、入居時、入居後に情報を収集し、暮らし方の希望などの把握に努めている。本人より、直接に聞けない場合には、表情や声、体の動き、経歴等から把握に努め、検討している。	サービス計画作成者は、他の事業所と兼務しており、常時、施設に居ることが無いので、担当者に様子を聞きながら、ご本人と面談している。現役時代の職業を聞き、過去の経験を生かし得意な調理をお願いしたところ、積極的にされるようになり、生活も安定されてきている例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前面接で、家族や本人、病院関係者、ケアマネジャーより情報を収集し、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居前面接で、家族や本人より情報を収集し、入居後は共に生活する中で、その方の現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>情報提供書や、面接時に関係者よりお話を伺い、必要時、医師とも相談しながら、介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画作成担当者は、担当スタッフ、医師、本人、家族から様子や意向を聞き取り、プラン作成をし、本人にサインをしていただくようにしている。計画者は他の事業所も兼務しているが、週2～3回適時に事業所に来ている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌に様子や気づきを記録し、職員間で情報を共有し、計画の見直しに役立っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入院された場合などには、面会に行き、洗濯物など持ち帰ったり、必要時には、食事介助を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>車でスーパーまで買い物に出かけたり、事業所の周辺の散歩道には、お花を作られている家があり、時には、お花を頂く事もある。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望される病院があれば、希望の病院にかかっている。特になければ、ホームドクターにお願いしている。定期的な往診をして頂き、必要時には、総合病院を紹介して頂いている。</p>	<p>希望があれば、利用前の主治医を継続していただき、連携病院以外でもスタッフが受診のお手伝いをしている。同一法人、本部が近く、看護師との連携がとりやすい状況であることから、緊急時の対応も出来る。ホームドクターは定時の往診以外でも、必要に応じて、指示及び診察をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員は、いつもと違う様子がある場合、すぐ看護師に伝え、相談し、対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には付添、介護情報提供書を渡している。毎日～一日おきに面会に行き、洗濯物の入れ替えをし、状態を聞きながら、早期退院できるよう働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に、重度化した場合の希望をお聞きしている。実際のその時には、本人、家族と話し合い、医師や看護師とも相談し、支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用開始時に、口頭で重度化した場合と看取りについての説明をしている。終末期と医師が判断した場合は、家族の意向を確認の上、ケアプランを作成して、チームで看取りのケアを実施している。適時、カンファレンスを開催して、情報を共有するようにしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>社内研修で、急変や事故時の対応について学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の避難訓練を行っている。災害時に飲料水を常備し、地震や水害時の避難について、事業所内で話し合っている。</p>	<p>避難訓練は年2回、日中と夜間を想定して実施している。過去の集中豪雨の時は、実際に同一法人の事業所に全員避難した。地域の方にも気にかけていただき、運営推進会議においても、地域の状況を教えていただいている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	苗字や名前では呼んでいない。大きい声でトイレ誘導の声掛けをせず、近くでそっと伝える等の配慮をしている。	年間研修計画の中に、個人情報の保護、プライバシーに関する研修を計画しており、全員が受けることとしている。法人の代表及び本部の職員が適時に来所して、直接指導をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べたいものや飲み物など、本人に選択して頂いている。着たい服なども、本人に聞きながら、一緒に選んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	事業所の一日の流れは決まっているが、その中でも、一人ひとりのペースに合わせた食事時間や、活動時間を提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	普段は口紅だけでも、外出時には、お化粧し、スカーフやブローチなどでおしゃれを楽しんで頂いている。男性は、毎日、髭剃りをし、身だしなみに気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段より、一緒に食事の準備をしている。お誕生日には好みの献立で、お祝いをしている。お花見などの行事には、お弁当を準備し、楽しんで頂いている。おやつも手作りを心掛けている。	献立は本部で作成しているが、3食とも買出し、調理は利用者と一緒にしている。調理の得意な人が、役割として、主体的に関わるようになったことで、利用者同士の助け合いが見られるようになった。四季折々の行事の食事や、誕生日会は好み聞き、可能な限り希望に沿っている。毎年、おせち料理は、一緒に手作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。	生活日誌に摂取量や水分量を記入し、把 握に努めている。体調に合わせ、捕食や 代替をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを行っている。自分 でできる方は見守りし、仕上げは職員が 行い、口腔内の状態を観察している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	定期的に声掛けや誘導をすることによ り、トイレでの排泄を心掛けている。夜 間、必要な方には、ベットサイドにポ ータブルトイレを設置している。	利用開始時は、紙おむつを着用していた 人を紙パンツに換えて、定時にトイレ誘 導することで、トイレでの排泄が出来る ようになった。又、オムツの人も、日中 は全員パンツ型のオムツにすることで、 日常の生活動作が容易になり、転倒のリ スク回避にも繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	研修で便秘について学び、便秘しないこ との大切さを理解している。毎日、排便 チェックをしている。便秘の方には、そ の方に合った方法で対応している。予防 として、水分、野菜の摂取や散歩など の運動を心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	午後より入浴をして頂いている。最低で も、週3回は入浴して頂いている。菖蒲 湯や柚子湯など、季節の湯を楽しんで頂 いている。	毎日、入浴が出来るよう準備している。 利用者の要望により、午後の時間にゆ っくり入りたいとの事で、1人が週3回は入 れるように取り組んでいる。冬至のゆず 湯、端午の節句は菖蒲湯が楽しみの一つ となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	シーツ交換や布団を干し、気持ちよく眠れるよう、室温などにも気を付けている。食後には、1時間程度、希望により休息して頂いている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	生活日誌に、お薬の効能書きを綴じ、いつでも読めるようにし、症状や副作用について気を付けている。お薬は、職員が管理し、その都度、手渡して服薬して頂き、確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食事作りや洗濯、掃除、物づくり、散歩など、それぞれ得意なことやできる事をしながら、役割を持った生活をして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や体調に合わせ、散歩に出かけている。町内会の盆踊りや秋祭りに出かけ、出店で買い物など楽しんで頂いている。	買い物や、散歩で、天候や体調を考慮しながら、週一回は外出するよう取り組んでいる。また、年1回は一泊旅行を希望を聞いて実施する取り組みをしている。平成28年度は緒事情により実施できなかったが、今年度は法人全体で取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人や家族の希望により、預り金として預かっている。出納簿を作成し、面会時には確認して頂いている。買い物時には、そのお金で本人に支払いをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は子機を使用し、プライバシーに配慮している。手紙を書かれた時には、投函のお手伝いをしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の壁画や花を飾り、季節を感じて頂けるよう努力している。トイレやポータブルトイレでの排泄後の臭いは、換気や消臭剤を使用し、不快感の軽減に努めている。	改造型であることから、出来ることへの環境整備に取り組んでいる。今後、新たに2ユニットへの転換を検討している。	建物の新旧でなく清潔な環境づくりに、少し気を配って頂き、居心地の良い空間作りをしていただくことが、利用者にとり、更なる安らぎの場となると期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファやテーブル、居室でそれぞれ、くつろがれたり、一緒にテレビを見たり、話をしたりしながら、過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には、自宅で使用されていた馴染みの家具や仏壇、写真、人形などを持ち込んで頂き、居心地の良い居室づくりに努めている。	一部畳の部屋を残し、和のしつらえとしている。なじみの家具や写真を持ち込み、自室としての雰囲気作りをしている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	段差の解消に努め、階段はすべり止めマットを敷き、手すりを取り付けている。トイレは表示し、車いすのまま利用できるよう、広くしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホームうぐいすの家

作成日 平成29年5月15日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	尊厳について話し合う必要がある	スタッフ全員が尊厳ある対応ができ、ケアサービスの質の向上につなげることができる	・スタッフ全員で話し合う ・研修を行う ・会社としての対応を行う (日々の業務について、より以上の指導を行う)	1年
2	52	清潔な環境作りへの気配りができていない	整理整頓された、清潔の居心地のよい環境を提供する	・スタッフ全員で話し合い一人一人が清潔を心掛ける ・業務の見直しをする	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。